

令和3年度 東近江市地方創生施策の実績

定住移住

●定住移住補助金（新築住宅取得又は住宅改修費の一部を補助）

区分	対象	補助上限額	実績
新築等取得	中学生以下の子どがいる世帯	上限20万円（1/5）	109件 21,800千円
	Uターン者	上限20万円（1/5）	35件 6,950千円
改修	39歳以下で結婚し新生活をはじめる世帯	29歳以下 上限60万円 それ以外 上限30万円	2件 900千円
	市民（住み続けるための住宅リフォーム）	上限15万円（1/10） 工事費50万円以上	114件 14,970千円

●移住相談会

オンライン移住相談	12件
メール等	18件



●定住移住ツアー（取扱：東近江市観光協会）

就農ツアー	中止
起業ツアー	中止

◇オーダーメイド移住体験 ～Visit Higashiomi～



東近江市への移住を考えている人を対象に個々の移住希望者に合ったよりきめ細かい体験ができるよう、1グループ4人程度の少人数での体験事業を実施しました。

利用数	1組	2名
-----	----	----

◇お試し居住「政所山荘」



移住や二地域居住に関心のある人を対象に、住宅を貸出し、東近江市での暮らしぶりを体験することで、ライフスタイルや地域の特性・風土を実感できるお試し居住を実施しました。

利用件数	10件	利用人数	20人
------	-----	------	-----

●婚活支援

登録者数	69人	成約数	4組
------	-----	-----	----

●移住相談を通じた移住者実績

件数	9件	人数	17人
----	----	----	-----



●空家バンク

◇東近江市住まい創生センター

空家、空店舗所有者と空家、空店舗を利用したい人とをマッチングし、空家問題を解決するために令和3年6月15日に一般社団法人東近江市住まい創生センターを設立しました。

空家バンク登録・成約件数
(令和4年3月31日現在)

登録件数	27件	希望者数	28件	成約数	11件
	内売買 26件 内賃貸 1件		内売買 19件 内賃貸 9件		内売買 10件 内賃貸 1件



住まい創生センター開所日（令和3年10月1日）以降の件数
登録：空家を登録して「売りたい」「貸したい」件数 希望：空家を「買いたい」「借りたい」件数

雇用創出

●企業誘致

支援メニュー	対象	支援内容	実績
立地促進奨励金	製造業、運輸業、情報通信業、研究機関、宿泊業	新設、増設による新たな投資により取得した資産にかかる固定資産全相当額 (上限年間1億円×3年間)	34件
商業施設立地促進奨励金	商業	市が指定する区域内において自ら小売事業を行う事業者が投下固定資産総額 1億円以上 建築面積 3千平方メートル以上の施設を新設した場合(上限年額5千万円×6年間)	0件
雇用促進奨励金	東近江市の住民を新規雇用(正社員)し、継続して雇用した実績	新規雇用者数×10万円(上限2千万円×3年間)	9件

誘致企業数 1件

◇株式会社エコパイプ

上岸本町地先に溶接鋼管専門メーカーの株式会社エコパイプを誘致しました。



●空店舗改修・起業支援

場所	支援内容	実績
空店舗改修支援事業補助金	空店舗を利用し、開業する事業者に対して改修費用を補助	2件
中心市街地商業等空店舗等再生支援事業補助金	中心市街地にある空店舗を利用して開業する事業者に対して、店舗改修費用を補助	3件

◇SATSUKI-R O

築100年の古民家を改修し、コワーキングスペース、レンタルスペースを設置しました。

運営：一般社団法人八日市まちづくり公社



◇女性のための創業塾

カフェ、サロンなどの創業に興味があり独立開業を考えている女性を対象に、必要な基礎知識などを学ぶ講座の開催を支援しました。

27人
開業11人(うち市内7人)

主催 東近江市商工会



◇ようかいち起業塾

「いつかは起業したい」「好きなことを仕事にしたい」という人を対象に、全5回の講座の開催を支援しました。

13人
開業4人(うち市内3人)

主催 八日市商工会議所



◇コミュニティビジネス支援

多様化する地域課題をビジネスの手法で解決を目指す事業者の立上げを支援しました。

2団体



箕川未来協議会

梵ジュール里山保全クラブ

◇しごとづくり応援センター

市内事業所が必要とする人材を確保するため、職業紹介と体験実習による就労支援しました。

事業所 新規登録数	求人票 登録数	求職者 登録数	職場体験 実習件数	職場見学 件数	紹介件数	採用者数
24	651	56	22	75	41	36

農産物ブランド化・就農

【近畿地方 市町別】

耕地面積		農業産出額		代表的な耕種又は畜産
1位	東近江市 8,350ha	1位	南あわじ市 206億円	野菜
2位	長浜市 7,940ha	2位	紀の川市 175億円	果実
3位	丹波市 5,500ha	3位	田辺市 134億円	果実
4位	甲賀市 5,100ha	4位	神戸市 127億円	野菜
5位	高島市 5,040ha	5位	豊岡市 116億円	鶏
		6位	みなべ町 115億円	果実
		7位	丹波市 114億円	肉用牛
		8位	有田川町 113億円	果実
		9位	五條市 112億円	果実
		10位	東近江市 109億円	米



参考 平成29年データ

耕地面積		農業産出額		1位の耕種又は畜産
1位	東近江市 8,470ha	1位	南あわじ市 266億円	野菜
2位	長浜市 8,010ha	2位	紀の川市 181億円	果実
3位	丹波市 5,620ha	3位	神戸市 161億円	肉用牛
4位	甲賀市 5,200ha	4位	有田川町 131億円	果実
5位	高島市 5,120ha	5位	豊岡市 122億円	鶏
		6位	五條市 107億円	果実
		7位	東近江市 107億円	米

●就農支援

支援メニュー	内容	補助上限額	実績
就農相談	市、県、JA、農業委員会、地域商社等の関係機関が連携して就農相談に対応		27件 ※市受付分
新規就農マッチング事業	NPO法人愛のまちエコ倶楽部と連携し、新規参入や第三者継承を支援		2件
集落営農リーダー育成補助	農業研修費用に対する補助 農業機械の免許取得に必要な経費 農業関係の専門研修に必要な経費	上限1.6万円（1/3） 上限10万円（1/3）	37人 501千円
次世代担い手確保・育成支援補助	新規就農者にハウスの設置や空きハウスの修繕等に対して補助		4件 2,999千円
農業次世代人材投資事業	50歳未満の認定新規就農者に、経営が安定するまでの間投資資金を交付	年間上限150万円 最長5年間	11件 14,250千円



●儲かる農業への転換

支援メニュー	内容	補助上限額	実績
水田野菜生産拡大推進事業補助	農業所得の向上と市内産野菜の自給率向上のため、野菜の生産を拡大し、生産に取り組む農家を支援	拡大した面積（10a当たり） 1年目8万円、2年目3万円、 3年目1万円	37件 10,798千円
銘茶 政所茶特産品化推進事業	政所茶の特産品化を図り、ブランド力を向上するため茶園整備や生産技術の向上、販路開拓、PR活動等を支援		731千円

●林業の振興

◇【林業家】地域おこし協力隊

隊員 2人

林業を生計とした担い手を増やすことで、森林整備を促進するとともに、森林を活用した山村活性化につなげるため、地域おこし協力隊の活動を支援しました。



子育て支援・教育

●出産

◇産後ママサポートチケット

産後、助産師の自宅訪問や産科の母乳外来で育児相談・授乳相談を受けることができるチケット(1,000円券×4枚)配布を実施しました。

◇不妊・不育症治療費の一部助成

不妊治療のうち、治療費が高額となる体外受精又は顕微授精による治療費などや不育症の検査・治療費の一部を助成しました。



●子育て支援

◇見守りおむつ宅配便

1歳未満児がいる家庭に、毎月、1,500円相当のおむつなどを専門のスタッフが宅配し、育児世帯の経済的な負担の軽減と子育て家庭の見守り活動を実施しました。



◇第3子以降の保育料軽減

第3子以降の保育料を兄弟の年齢にかかわらず、その世帯の所得に応じ、無料又は半額に軽減しました。

【軽減内容】※所得制限有
第1階層～第7階層は無料
第8階層～第13階層は半額



◇乳幼児・子ども医療費助成

乳幼児・小学生・中学生が通院や入院した場合の医療費を所得制限なしで助成を実施しました。

【自己負担額】
乳幼児 無料
小学生・中学生
入院 1,000円/日 月額上限14,000円
通院 500円/月(1医療機関) 調剤は無料

●里山保育

市民団体「東近江さとやまNannies」と協働で、市内の幼稚園や認定こども園の5歳児を対象に、体験を通じて身近な自然の楽しさを知ってもらう里山保育事業を実施しました。

令和2年 7園 ⇨ 令和3年 9園



●保育士確保

◇「保育の仕事」見学・体験を開催 11月24日

保育の仕事に関心のある人や保育士資格又は幼稚園教諭免許を持っていて復職などを考えている人を対象に、見学・体験を行いました。



参加者 1人

◇「保育の仕事 就職フェアIN東近江」を開催 12月11日

保育の仕事に興味があり、就職を考えている人を対象に、市内の幼児施設についての話や保育教諭の体験談の発表、また民間園から園の施設や保育理念の紹介を行いました。



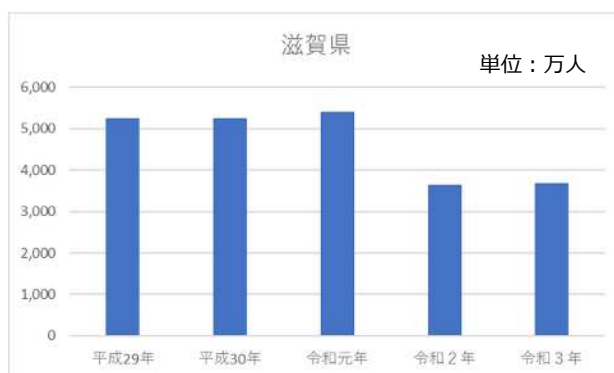
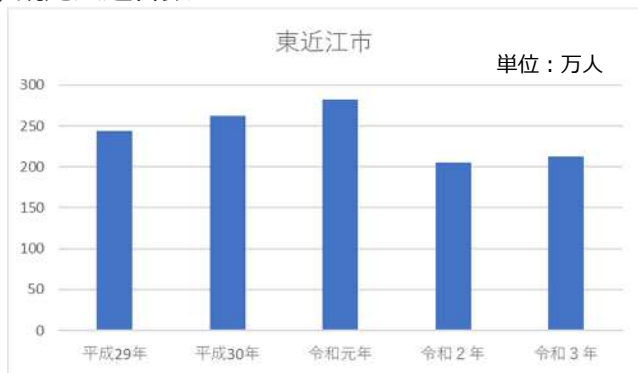
参加者 19人 ⇨ 就職 1人

観光・物産

●観光・地方創生イベント

◇観光入込客数

令和3年の数値は速報値です。



	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
東近江市	244	263	282	205	213	
滋賀県	5,248	5,254	5,404	3,641	3,692	単位: 万人

●観光・地方創生イベント

◇エコツーリズム

東近江市エコツーリズム推進協議会を設立、東近江市と地域の団体が連携して、登山に関する相談のほか、登山道の巡視や整備、生態系の保全活動、鈴鹿10座とその周辺の魅力を伝えるエコツアーの企画・運営を実施しました。



東近江市のエコツアーを紹介する広報紙「Higaeco [ヒガエコ]」を発行しました。

◇近江の聖徳太子魅力発信

令和3年10月から令和5年にかけて、聖徳太子ゆかりの社寺を中心に秘仏の特別公開や特別御朱印めぐりなど、大人から子どもまで楽しめる様々なイベントを開催します。



◇サウンディング型市場調査

東近江市能登川水車とカヌーランドは開園から28年が経過し各種施設の老朽化が問題となっています。施設の魅力や利便性の向上を図ることができる実現性の高いアイデアやノウハウを募集するとともに、事業の実現に向けた課題などを把握することを目的にサウンディング型市場調査を実施しました。



◇SEA TO SUMMIT開催 中止

伊庭内湖から琵琶湖までをカヤック等で回り、バイク(自転車)に乗り換えて奥永源寺まで進み、鈴鹿の山を登山するコースを走破するイベントはコロナの影響で中止となりました。



●シティプロモーション

◇東近江市 近江匠人認証制度



・人と地域とのつながり
 ・本物へのこだわり
 ・未来への継承
 3つの指標を基に「地域愛」を数値化し、物産とその背景にある「物語」を認証する新しい認証制度を開始しました。

認証物産 21件



道の駅奥永源寺 溪流の里で認証物産の販売を開始しました。



●木地師のふるさと発信

◇全国の木地師等とのネットワーク

日本四大漆器とされる「会津漆器」「越前漆器」の産地を訪問し、東近江市との連携強化の取組を行いました。

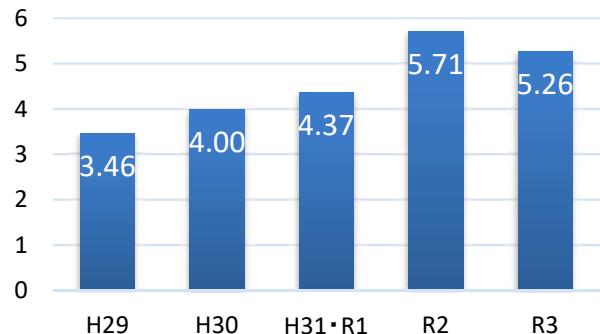


◇ニュースレター発行

東近江市で活躍する木地師の紹介、木地師資料館の紹介や資料収集の案内などをまとめたニュースレター「木地師のふるさと」を発行しました。



ふるさと寄附額(億円)



●ふるさと寄附

◇ふるさと寄附が5億円を突破

ふるさと寄附金の総額は約5億3千万円。寄附額の約3割を市内の物産等を返礼品として寄附者にお礼を返しました。

件数 5,323件 金額 526,391,780円

提案メニュー別寄附額



- 鈴鹿の山々から琵琶湖まで広がる自然や魅力ある歴史、文化、伝統を生かしたまちづくりに関する事業
- 誰もが暮らしやすいまちをつくるための担い手となる人材の育成に関する事業
- 安全で快適なまちをつくるための都市基盤の整備に関する事業
- 市長が必要と認める事業 (使途事業を選択されなかった分を含む。)

にぎわい創出

●中心市街地活性化

◇シャリエ八日市駅前 令和5年3月竣工予定

八日市駅前市有地活用事業では、近江鉄道八日市駅に隣接する市有地を事業用地とし、官民連携での拠点施設整備として1階 観光交流機能、2～3階 オフィス機能、4～14階 分譲マンションの複合ビルの建築を開始しました。

◇八日市駅前市有地活用事業に係る事業協定



八日市駅前の更なる活性化に向け、駅前のランドマークとなる拠点施設を整備していくもので、八日市商工会議所、東レ建設株式会社、本市の3者で事業協定を締結しました。



◇SATSUKI-RO

築100年の古民家を改修し、コワーキングスペース、レンタルスペースを設置しました。

◇えいとてらす

八日市駅前の歩道上にテーブルや椅子を設置して、沿道店舗で購入したものを飲食できる屋外カフェ「えいとてらす」を支援しました。



運営：一般社団法人
八日市まちづくり公社



◇本町パサージュ



本町商店街を会場に、様々な分野のアーティストが一堂に会し、自己の作品を展示、実演、販売し、自己を表現する場として開催される「本町パサージュ」を支援しました。



◇延命新地地区街なみ環境整備

近江鉄道八日市駅周辺の活性化に向け、同地区の歴史や文化をいかした風情ある街なみ景観を整備・保存することを目的として、修景補助制度を創設し、環境整備を支援しました。

●能登川駅前活性化

◇デュオヒルズ能登川駅前

官民連携の再開発事業（日清紡能登川工場跡地 再開発事業）として11階建129戸の分譲マンションの建築を開始しました。

令和5年2月竣工予定



●宿泊客等誘客の仕組みづくり

◇スポーツ大会・コンベンション等開催誘致

スポーツ大会、合宿、学会、大会などで市内宿泊施設で宿泊を伴う取組に対して、市外からの参加者の宿泊に対する助成をしました。（市内開催の場合 1,000円/人※上限有）



都市基盤

●近江鉄道利用促進

◇近江鉄道に乗って快適通勤・通学
市営あかね駐車場

近江鉄道の利用促進の一環として、近江鉄道市辺駅徒歩約5分にある市営あかね駐車場を拠点にパーク・アンド・ライド実証実験を実施しました。

◇ガバメント
クラウドファンディング

地域鉄道再生のため、ガバメントクラウドファンディングにより寄附を募り、近江鉄道を支援しました。



◇近江鉄道特別乗車券発行

近江鉄道の利用促進を図るため、期間限定で特別乗車券を発行しました。



●ちよこつとバス

◇市街地循環線を創設

近江鉄道八日市駅周辺の大型商業施設や公共施設を循環する「市街地循環線」を創設しました。



●地域医療の充実

◇東近江市蒲生医療センターがん診療棟

7月24日蒲生医療センターがん診療棟が竣工し、診療が開始されました。

◇（仮称）近江鉄道蒲生新駅検討開始

蒲生医療センターがん診療棟オープンに伴い、利便性の向上に向けた（仮称）近江鉄道蒲生新駅の設置検討を開始しました。



リニアック
X線や電子線を体の外から照射してがんを治療する装置



湖東地域初となるPET-CT装置



東近江市蒲生医療センターがん診療棟

●道路整備

◇垣見ずい道

2月1日能登川地区の垣見町にあるJR東海道本線の下を通る新しいずい道が開通しました。

